



Symposium Report

2013年研究会報告

アート×ナラティブ×災害トラウマ

——記憶の紡ぎ手の役割を考える——

日 時：2013年3月14日（木）

場 所：甲南大学18号館3階 講演室

◆主催

本研究会はJSPS科学研究費助成事業の助成を受けたものです。

「生活史法による臨床物語論の構築と公共化」

（代表・森岡正芳 分担・森茂起 研究課題番号：24243066）

「視覚芸術におけるトラウマと心理ケア

——芸術と臨床の連携に向けた歴史研究と理論構築」

（代表・石谷治寛 研究課題番号：24720084）

◆協力：甲南大学人間科学研究所

総合司会（石谷治寛）

- ・ 森茂起「戦時体験の語りとPTSDの心理療法」
- ・ 吉川由美「生きる力の取り戻し——南三陸町でのアート活動」
- ・ 問題提起と討議・質疑 1
- ・ 石谷治寛「アートの創造性を公共に媒介する
——セラピストとメディエーター」
- ・ 討議・質疑 2